



国民春闘共闘

第21号

2019年3月14日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19国民春闘 賃上げ第1回集計

単純 5,464 円・1.96%、加重平均 5,906 円・1.85%

「うちも出せ!」とあきらめず追及を

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は14日、前日の19国民春闘集中回答日を受け、第1回の賃金改定集計を行いました。

<回答状況>

	2019年	2018年（同期）
登録組合数	797	818
回答引き出し組合数	199 (25.0%)	189 (23.1%)
うち金額・率の回答	155	137
うち「定昇確保」など言葉による回答	44	52
うち上積み獲得	13 (6.5%)	15 (7.9%)
うち妥結組合数	17 (8.5%)	14 (7.4%)

<回答内容>

集計方法&対象		2019年	2018年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,464	6,019	-555
	率（%）	1.96	1.96	±0
加重平均	額（円）	5,906	5,369	+537
	率（%）	1.85	1.86	-0.01
	組合員数	31,693	21,198	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
143	89 (62.2%)	71	18

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	143	5,381	5,645	-264
	率（%）	118	1.94	1.98	-0.04

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

3月14日の春闘集中回答日を受けた第1回集計には、10単産・部会から報告が寄せられました。登録797組合のうち、集中回答日までに回答を引き出したのは199組合・25.0%で、このうち先行組合を中心に17組合が妥結しています。回答引出し率は前年の集中回答日翌日集計（2018年3月15日現在・23.1%）を若干上回り、一昨年水準に戻しました。また、199組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が44組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は155組合となっています。

また、建交労首都圏集団交渉組合などを中心に、回答引出し組合の6.5%にあたる13組合が2次回答以上と上積み回答を引き出し、14組合が妥結となっています。（妥結率8.5%）

回答内容の特徴

有額回答を引き出した10単産・部会155組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,464円・1.96%で、前年同期比555円減・±0%となっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,906円・1.85%で、前年同期（5,369円・1.86%）比537円増・-0.01%となっています。昨年の同時期は、3万円の賃上げ（賃金体系の変更提案を含む回答）回答が含まれていたことを留意する必要があります。また、1万円以上を勝ち取った組合は6組合と昨年に比べて5組合減少しています。

同一組合での対比が可能な143組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,381円で、前年実績を264円下回っています。率では118組合の比較で、1.94%と0.03%の悪化となっています。そうした中、金額の比較では、56.5%の組合が前年実績以上の回答を引き出しています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況など

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、生協労連、全印総連、日本医労連の3単産57組合から90件の成果獲得の報告が寄せられています。時給制労働者では、引上げ額で21件の平均で18.7円となっています。前年比較可能組合でみるとほぼ前年並みの引き上げ状況となっています。

引き続き、均等待遇の実現に向けて奮闘が求められています。

統一闘争に結集して要求をあきらめずに粘り強く上積みを勝ち取ろう！

初回集計での回答水準は生活改善に向けた切実な要求に対して十分な回答とはなっていませんが、そうした中でも統一闘争に固く結集し、成果を勝ち取っている組合も少なくありません。建交労の首都圏集団交渉では、多くの企業で前年実績を超える回答を引きがしています。また、JMITUでも前年同期を上回る回答を引き出し、なかには10,000円を超える回答を引き出す組合も生まれています。日本医労連の全体集計では、昨年実績比で額で+157円、率で同率となっているほか、介護職で2,500円のベアを勝ち取った組合や、若年層の処遇改善の回答も寄せられています。生協労連からは2000円のベア、5年連続で3000円のベアを勝ち取った報告なども寄せられています。全印総連では11時間のインターバル制度の実現などの諸要求での回答前進の報告も寄せられています。要求をあきらめずに粘り強く上積みを勝ち取るたたかいを進めていきましょう。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**